

光受寺通信

NO.172

R5.4.1 発行
発行元 光受寺



今月号からは通信の掲載内容など一部変更させていただくことになりました。その理由の1つには、その月によって記事の多少が多いからです。今までは皆さんからの投稿を中心に掲載内容を構成してまいりましたが、回を重ねることに投稿をお願いするのが、難しくなってきました。もちろんこれから機会があればぜひ掲載させていただきたいと思っておりますが、継続的には無理になってきたことを、ご理解いただきたいと思えます。

一わからの掲載内容については、お寺の行事を中心としたこれまでの内容とあまり変わり映えはませんが、できるだけ読みやすくお伝えできるように、心がけていきたいと思っております。

さてようやくコロナの感染状況も落ち着いてきたようでありま。三月二十一日(火)には春の永代経を勤めさせていただきました。多くのご参詣ありがとうございました。

新発心誕生へ

今年、二人の孫がお得度を受けようと思っております。今日はその孫もお参りして、皆さんと一緒にお経を読んでくれました。まだ小学生と、来年中学入学の子どもです。のでお得度を受けることの重さをどれほど分かっているかは分かりませんが、新発心(しんぱつしん)の誕生を住職としてとても喜んでおります。



本堂に響き渡った正信偈

宗祖親鸞聖人御生誕 850年 立教開宗 800年 慶讃法要が勤まりました。

三月二十五日(土) 日帰りの

光受寺からは八名の参加者

岐阜・高山教区第十一組主催

当日は雨模様の出発となりましたが、京都につく頃には雨も上がり、バスを降りてからの移動はとても助かりました。

法要の初日でもあることから、楽

も入り重々しい荘厳なお勤めをいただく事ができました。

全国から集まられた「門徒の方々の

「南無阿弥陀仏」が堂

内に響き渡っていました。

参加いただいた方からの感想をいただきました。

親鸞聖人御誕生八百五十年に、仏教には無縁で何も知らぬまま参加させていただきましたが、親鸞聖人の生き方や教えが引き継がれている事にただただ感動するばかりでした。お念仏の中で人と生まれたことの意味を改めて確かめながら、今日の貴重な体験を生かしていきたいと思えます。

K・Nさん

今回親鸞聖人の慶讃法要に参加させて

いただきました。この法要で東本願寺に参加させていただいたのは2回目となりました。前回に比べ事前に資料の配布や、バスの中で親鸞聖人のビデオを観るなど、宗祖の御誕生から、苦難の時代を乗り切るなど、その教えを改めて確かめることができ誠にありがたかったです。 H・Iさん

親鸞聖人の御生誕850年・立教開宗800年の慶讃法要に参加させていただきました。3月25日は初日で、各地よりバスで多数参加されました。荘厳な楽奏に合わせ読経が流れました。お寺様のご縁により参加でき、深く感謝したいと思います。 Y・Iさん

今回の法要に参詣し、長い年月にわたって引き継がれていることに驚きました。また東本願寺でお勤めさせていただける貴重な体験をさせていただきました。感動感謝で一杯です。お話の中に「南無阿弥陀仏 人と生まれたことの意味をたずねていく」とありました。が、これからの人生、生かされていることに感謝し、日々を過ごして生きていきたいと思えます。 S・Nさん

今年も楽しませていただきました。
観梅展・各種催し



今年の梅の開花は例年より早かったように思います。特に咲き始めから散り始めまでの期間が短かったようにも思えます。全体的には枝の出が悪く花芽も少なかつたように思いました。

一胡とお琴の演奏会も開かれ、1000名近くの人に楽しんでいただくことができました。

演奏に合わせて、懐かしい童謡や歌謡曲を皆さん大きな声で歌っていらっしゃいました。



そのほか光受寺境内には梅の他に椿も多く植えられていますので、きつと楽しんでいただけたらと思います。



プリンセスマサロ

私のお気に入り
対馬の娘



今月の掲示板



如来大悲の恩徳は

身を粉にしても報ずべし

師主知識の恩徳も

骨を砕きても謝すべし

恩徳讃

私は、結婚が決まった二十四才の夏にお得度を受けました。前日には髪を剃り落として、当日の朝一番で「影堂」へお参りいたしました。その時何故か涙が流れ止まりませんでした。今思えば、この決意への出発点に立たされたという事なのでしょう。

如来大悲の恩徳に、身を粉にして、骨を砕きても報謝していく人生の始まりと受け止めたのでしよう。

しかし、今この決意も薄らぎ、いつしか体たらくな毎日を送ってしまっています。今回の慶讃法要を迎え、「影堂」の聖人の御前に身を置いた時、再びこのご和讃が身に染みてきました。「報ずべし、謝すべし」という悲痛なままでに呼びかけられる意味が強く問われてきたのです。

行事予定

○四月十日(月) 十日講

九時半～十一時半 法話あり
一般参詣無し。

○四月十五日(土) 学習会

十四時～十五時三十分
歎異抄 2条

○四月二十日(木) お寺サロン

十三時三十分～十四時三十分
廣専寺

○五月十八日(木) お寺サロン

十三時三十分～十四時三十分
光受寺

○五月十八日(土) 学習会

十四時～十五時三十分
歎異抄 3条

以上のように計画をいたしておりますが、都合により変更になる場合がございます。

多くの方にご参加いただけますことを願っています。